

令和8年4月16日から令和8年7月1日までの出来事を掲載しました。



タイトル：五穀豊穡と安全祈願
撮影者：清藤昌丈さん

議会トピックス

全国市議会議長会議員表彰

6月5日(金)の本会議で、全国市議会議長会から表彰状の贈呈を受けた議員に対し、表彰状の伝達が行われました。



清野 一榮
特別表彰 在職25年以上



蒔苗 博英
一般表彰 在職15年以上



尾崎 寿一
一般表彰 在職15年以上



野村 太郎
一般表彰 在職15年以上

※このほか、石岡千鶴子元議員に対し、特別表彰(在職20年以上)がありました。

副市長及び教育長を同意

5月1日(金)の臨時会で、副市長に清野浩輝氏の選任、また、教育長に森尚生氏の任命について、全会一致で同意しました。

副市長



清野 浩輝
(せいの ひろあき)

教育長



森 尚生
(もり なおき)

令和 8 年 第 1 回 臨 時 会

市長提出議案 6件

【会期：令和8年5月1日(金)】

その他人事案件 2件

○弘前市監査委員の選任について

さ さ き こういち 氏 (再任)、まつおか まこと 氏 (新任)
佐々木 宏一 氏 (再任)、松岡 信 氏 (新任)

令和 8 年 第 2 回 定 例 会

市長提出議案 18件

【会期：令和8年6月5日(金)～7月1日(水)】

令和8年度6月の補正予算について

●令和8年度弘前市一般会計補正予算(第2号)

子育て負担の軽減を図るため、令和8年4月分からの保育料の完全無償化と副食費への支援のほか、物価高騰から暮らしを守る取組をはじめ、まちの賑わいを取り戻す取組やりんご生産への支援といった、当市が抱える緊急課題への対応に係る予算を中心に編成したものです。

6月補正後の令和8年度予算

一般会計 871億8千130万6千円
(6月補正額 8億4千495万6千円)
特別会計 408億5千853万1千円
(6月補正額 392万7千円)

条例の改正 6件

○弘前市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険料の基礎賦課額の限度額並びに低所得者に対する被保険者均等割額及び世帯別平等割額の軽減措置の適用に関する所得判定基準を改定するなど、所要の改正をしようとするものです。

本 案 に 対 す る 討 論

○反対の要旨 以下の理由で反対する。

- ・国民健康保険制度は、構造的課題を抱えており、公費投入や制度改革が不可欠な状態であるが、対策を取っていない
- ・基礎賦課限度額1万円の上げは、国の財政負担を地方自治体や国民に付け替えるものである
- ・市には国保財政の黒字を市民へ還元し、負担軽減策を講じることを求める

○賛成の要旨 以下の理由で賛成する。

- ・賦課限度額の改正は、国民健康保険法施行令に準じたものである
- ・賦課限度額の見直しは、中・低所得者層の保険料の負担軽減が図られるものである
- ・軽減所得判定基準の見直しは、社会保険制度として被保険者の負担の公平性が重要となる保険の仕組みに合致するものである

人 事 案 件 2件

○弘前市監査委員の選任について(1名)

こばやし たろう 氏 (新任)
小林 太郎 氏 (新任)

○弘前市教育委員会の委員の任命について(1名)

いちのへ りゅうき 氏 (新任)
一戸 竜基 氏 (新任)

選挙管理委員及び同補充員の選挙

○選挙管理委員の当選人(4名)

ふじた かつひさ 氏 (新任)、いけだ しゅんや 氏 (新任)
藤田 勝久 氏 (新任)、池田 俊也 氏 (新任)
ひない ただひろ 氏 (再任)、じん ひろき 氏 (新任)
比内 理佑 氏 (再任)、神 弘樹 氏 (新任)

○選挙管理委員補充員の当選人(4名)

ひきま ゆみこ 氏 (再任)、みかみ たかひさ 氏 (新任)
引間 由実子 氏 (再任)、三上 隆久 氏 (新任)
かんの ひろし 氏 (新任)、そうま ひとし 氏 (新任)
菅野 洋 氏 (新任)、相馬 仁志 氏 (新任)

陳 情 1件

○熊の無差別駆除の即時停止および共生政策の実施について

※陳情書は議員に参考配付しました。

一般質問

6月16日～19日の4日間で一般質問をした議員の質問・答弁の要約を掲載しています。QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。
※敬称略。()は所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



千 葉 浩 規
(日本共産党)



市長の政治姿勢、平和行政について

問 市長の憲法第9条を含む憲法についての認識を答えよ。

答 日本国憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を基本原則とする我が国の最高法規。その理念は、主権者たる国民の総意に基づくもので、地方自治体における全ての行政活動の柱。憲法第99条では、全ての公務員に「憲法尊重擁護の義務」が課されており、憲法、法律

及び条例に従い、誠実かつ公正に行政活動を行うことが、公務員の使命である。

問 市長の核兵器禁止条約についての認識を答えよ。

答 核兵器禁止条約への署名・批准の賛否については、国政の場で議論されるものではあるが、平和都市宣言を行っている当市としては、核兵器のない平和な国際社会の実現という思いは、同条約と変わらないものと考えている。



蒔 苗 博 英
(創和・公明)



りんご苗木の供給不足対応について

問 市の考えを伺う。

答 苗木が不足する状況が続いていることを受け、4月に農協、県りんご協会、苗木業者の協力の下「りんご接ぎ木・雪害対策講習会」を開催。また、地域の農業者組織による研修会等を通じ、自ら苗木を作る熟練技術を次世代へ伝え、地域全体で苗木づくりに取り組むことを奨励すべく「りんご苗木づくり奨励金」の補

正予算を今定例会に提出した。市は雪害等の自然災害に負けない強い産地づくりを目指して様々な施策を展開していく。

鳥獣害対策について

問 本市のりんご産業においても熊や鳥による食害は喫緊の課題だが市の対応は。

答 4月に熊の市街地出没時の緊急銃猟に対応するガバメントハンター1名を配置。5月1日に8名体制の鳥獣対策推進室に格上げし対策を強化することとした。



志 村 洋 子
(創和・公明)



犯罪被害者支援について

問 相談体制と支援制度の概要を伺う。

答 経済的負担の軽減策は、犯罪被害者またはその遺族に対する見舞金の給付、転居が必要となった場合の費用や精神的な回復を図るための心理相談費用の助成を実施。被害者の尊厳を傷つける大きな要因の一つが、周囲の無理解や配慮に欠ける言動といった偏見等による二次被害であるため、被害者の置かれている状況

と支援の必要性等の理解を深めるための周知啓発や、圏域市町村職員対象の被害者支援研修にも取り組んでいる。「多機関ワンストップサービス」が県内で開始され、関係団体等が持つ利用可能な全制度を包括して届けることで、各種制度を利用する際の負担軽減に資する、途切れない支援体制が強化されたと捉えている。

〈その他の質問項目〉○庁舎内のハラスメント対策 ○弘前公園



工 藤 裕 介
(弘前さくら未来)



子供たちの新たな遊び場・運動拠点の創出可能性について

問 全天候型施設の構想について。

答 子供たちがより多様な遊びや運動が可能となる施設が十分に確保できているとは言い難い状況であることから、新たな遊び・運動の場となる全天候型子ども運動パークの整備を目指していく。整備に当たっては、子育て世代の多様なニーズを把握するとともに、既存施設の有効

活用や民間活力の導入可能性も視野に入れて実現に向けた調整に努める。

農泊の推進について

問 農泊の受入れ拡大に向けた支援策について。

答 受入先の確保や人材育成、地域内外への情報発信、農泊希望者と受入先との調整窓口の整備など、農泊の体制強化に向けて、まずは弘前里山ツーリズムをはじめとした関係団体と協議していく。

一般質問の写真は、過去に撮影した写真も含めて使用しています。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

弘前市議会ホームページ <https://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。

弘前市議会 インターネット中継

検索

弘前市議会 会議録

検索





樋川 篤子
(弘前さくら未来)



シビックプライドの醸成と若者の意見反映について

問 今後どのように進めていくのか。

答 若者定着と地域の未来づくりのため、雇用機会の創出や魅力ある職場環境づくり、市を離れた学生等が弘前とのつながりを保ち続ける「関係人口」の拡大、Uターンの促進等、時代に即した形へ更新。

教育行政について

問 教育長の教育姿勢、教育観について。

答 何が子供たちのためになるかを常に判断基準に置き、現場主義の教育行政を進める。限られた人的資源等の中で、真に重要なことに力を注ぐため、やらないことを決める。子供自身が「面白い」「楽しい」と感じ、何かに熱中する中で、自ら学びたい意欲を育む教育を推進。

部活動改革について

答 教育委員会と市長部局等が一つのチームとなり、着実な推進に取り組む。



坂本 崇
(奏望会)



ラーケーションについて

問 当市での制度導入について、教育委員会としての考えを改めて伺う。

答 保護者の休暇に合わせ家族が共に過ごし、学び、対話を深める機会を確保することは、家族の絆を深め、子供の豊かな心や主体的に学ぶ力を育み、保護者のワーク・ライフ・バランスの向上も期待できるため、市の実情に合わせ、早ければ本年8月から試行的に実施できるよう

準備を進めている。運用にあたり、市内外での歴史・文化等の学習や、今年度本県で開催される国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会等のスポーツ観戦や体験、家庭での親子レクリエーション活動等、様々な活動を幅広く認め、特に市独自の郷土学習であるひろさき21学に基づく体験活動を推奨する方向で考えている。出席・欠席の取扱い、国が示す基準にのっとり、欠席扱いとはしない予定。



畑山 聡
(創和・公明)



弘前さくらまつりの際のぼんぼり復活について

問 今後の市の考え方を問う。

答 市内事業者により組織する組合等から設置したいとの申出があった場合には、改めて主催4団体で協議することとしている。ぼんぼりはまつりの風情や雰囲気演出し、会期を通して誘客効果も期待されることから、設置箇所等への検討や関心のある事業者への情報提供など、ぼ

んぼりの設置に向けた働きかけを行う。

宿題の是非とA1ドリルの活用について

問 子供たちの学力向上のための手段について教育委員会の考え方を問う。

答 子供たちの習得状況に応じてA1ドリル等を活用しながら主体的に取り組める質の高い反復学習の展開が重要であり、一律に大量のドリルを子供たちの納得を得られない形で課すような宿題は見直す必要があると考える。



須藤 江利加
(日本共産党)



女性のトイレ環境改善について

問 公共施設の女性トイレの整備状況等について、市の考えを伺う。

答 近年は、女性の社会進出の進展やライフスタイルの変化等に伴い、公共施設における女性用トイレの混雑緩和や利便性向上を求める声が高まっているほか、国でも公共施設等における適切なトイレ環境の整備について検討が進められている。市が保有する公共施設の状況につい

ては、用途や利用者数、男女別の利用状況等が施設ごとに異なっており、女性用トイレの増設や配置の見直しにあたっては、各施設の利用実態や施設構造、改修費用等を総合的に勘案しながら対応していく必要があると考えている。

〈その他の質問項目〉○弘前市の児童虐待対策 ○弘前市の男女共同参画プラン ○インフルエンザ対策 ○市長直轄の危機管理体制の構築



石山 敬
(創和・公明)



これからの地域づくりの在り方について

問 これまでの仕組みの延長だけでは地域は維持できないのではないかと強い危機感を持っているが、地域運営組織に対する市の認識は。

答 市が4年ごとに全町会を対象に実施しているアンケート調査では、直近の令和6年度の調査結果で85%の町会が「町会の継続に不安を感じている」と回答。その要因として、「役員の成り手不足」

「役員の高齢化」「住民の町会に対する関心の低さ」等が挙げられており、近年は解散に至る町会も生じているのが現状。このような中、これまで地域の暮らしを支えてきた町会といった地縁組織だけでなく、多様な個人や団体が連携して活動する地域運営組織の重要性が今後ますます高まっていくものと認識している。

〈その他の質問項目〉○将来を見据えたスポーツ環境整備について



竹内 博之
(弘前さくら未来)



挑戦し、稼げるまちを実現するための中心市街地活性化基本計画の策定と投資促進による都市再生について

問 どのような方針で取り組むのか。

答 当市の文化や観光資源の活用等、城下町並びに学都としての強みを入れ込んだ計画内容となるよう見直しを進めている段階である。不均一課税制度の導入についても、調査・検討を進め、中心市街地における新たな投資や事業展開が生ま

れる仕組みづくりに挑戦する。

三つ目の基本姿勢「AIとDXによる変革」と市役所組織の推進体制について

問 どのように認識し、考えているのか。

答 単なるデジタルツールの活用による局所的な業務効率化ではなく、全庁的な構造改革であり、職員の意識改革となるものと認識。当市の未来を切り拓く大きな挑戦として、全職員が一丸となって主体的に取り組む体制の構築へとつなげる。



三浦 行
(日本共産党)



農業行政について

問 熊等鳥獣害支援について。

答 昨年度の熊捕獲頭数は、過去最多で県内最多となる391頭。ニホンザル捕獲頭数は、昨年度比で52頭多い79頭。市独自の侵入防止柵整備事業での補助対象を拡充する等、対策を強化している。

教育行政について

問 学校給食について。

答 西部学校給食センターにおける給食

提供の休止は、ボイラーから蒸気を送る管に備え付けられている減圧弁故障が原因。5月20日から4日間、給食提供を休止し、牛乳やりんごジュースの提供のみを実施。保護者への周知は、休止を決定した18日に、緊急メールシステムとアプリにより、お弁当等の持参をお願いした。

〈その他の質問項目〉

〇りんご樹の豪雪被害への緊急支援

〇学校における働き方改革



成田 大介
(弘前さくら未来)



岩木山周辺（岩木・相馬地区）の観光振興について

問 交流人口の拡大や地域活性化につながる今後の観光振興策について。

答 岩木・相馬地区は、豊かな自然環境を生かした宿泊施設やカフェなどの飲食店の新規開業、各種イベントが開催されており、今後も両地区ならではの新たな事業展開が期待できるエリアである。人手が落ち着くゴールデンウィーク以降の

グリーンシーズンの底上げと閑散期となるスノーシーズンの需要拡大に向け、アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち2つ以上で構成される旅行を指すアドベンチャーツーリズムを推進するため、今年度は、ひろさきガイド学校において養成講座を開催することとしており、両地区への誘客施策として位置づける。

〈その他の質問項目〉

〇会計年度任用職員 〇教育行政



蛸名 正樹
(創和・公明)



除排雪対策の抜本強化について

問 市の基本姿勢や体制の充実・強化策、新たな取組について伺う。

答 除排雪対策は、市民の命と暮らし、地域の経済活動を支える極めて重要な行政サービスであり、国や県との連携を強化し、市民・事業者・行政が一体となり、前例にとらわれない実効性のある雪対策を推進する。除排雪工区や契約内容を抜本的に見直し、変化する気象状況へ早急

に対応できる除排雪体制を構築していく。

弘前市の人と猫との共生に関する取組

問 市の保護猫支援策について伺う。

答 まずは各地で行われている取組の情報収集や各種団体との意見交換を行いつつ、取組の在り方を慎重に研究したい。今後も、関係機関等と連携し、市民が動物愛護管理に関する知識や理解を深められるよう周知啓発を図り、県の支援事業等を活用し、適正飼養の推進に取り組む。

令和8年第2回定例会日程 (27日間) 〇傍聴者の数：101人

6月5日(金) 本会議

開会、会期の決定、
提案理由の説明

6月23日(火) 常任委員会

総務、厚生、
経済文教、建設
予算決算

6月6日(土)～6月15日(月)

議案熟考

6月24日(水) 常任委員会

議事整理

6月15日(月) 特別委員会

議会改革

6月25日(木)～6月30日(火)

各委員長の報告、
質疑、討論、
表決、閉会

6月16日(火)～6月18日(木)

一般質問

7月1日(水) 本会議

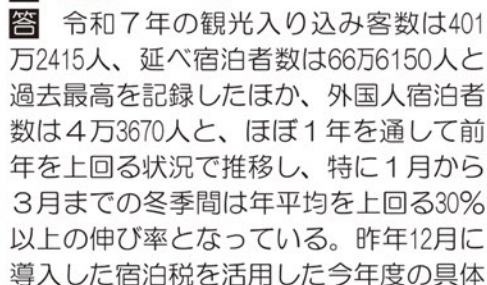
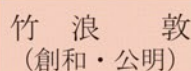
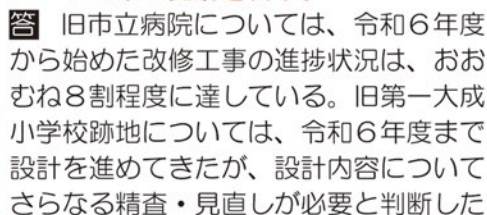
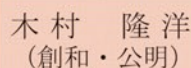
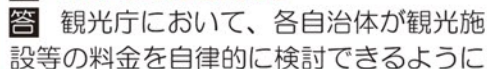
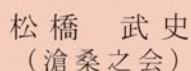
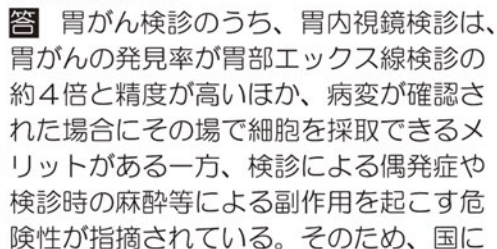
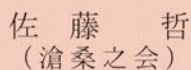
本会議

一般質問、議案付託

6月19日(金) 本会議



弘前市マスコットキャラクター
たか丸くん りんごバージョン



〈その他の質問項目〉○桜の樹勢について ○桜の新植の可能性について ○弘前公園の名称変更について

答 新たな財源確保に向けた取組として
ネーミングライツの導入を積極的に検討
していく。

市では、旧市立病院の有効活用と旧第一大成小学校跡地の活用の在り方や整備方法について関係機関とも議論を行いながら再検討し、施策の充実・実現を図る。

〈その他の質問項目〉○廃校の活用

議案は、○は賛成、●は反対。－は採決に加わらなかったもの。
※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

[illegible]



外崎 勝康
(創和・公明)



地域交通等について

問 ひろさきMa a Sの取組について。

答 今年度は、休日の買物やイベント利用にも展開するほか、アプリ機能や操作方法を改良する予定である。

問 地域共同配車アプリについて。

答 地域共同配車アプリの必要性や導入効果等について、先進地の実績データなどを参考に調査研究を進める。

弘前市こども家庭センターについて

問 産後ケア事業の改善点は。

答 より利用しやすくするため、ウェブ申請の導入や利用までの期間を4日程度に短縮するなど様々な改善を行ってきた。

教員の勤怠管理及び校務DXとの連携について

問 勤怠管理を含むシステムの運用は。

答 より実効性の高いシステムの運用に努め、教育の質の向上と教職員の働き方改革の両立を図っていく。



角田 しの
(無所属)



当市における多世代交流の居場所

問 多世代交流の居場所づくりに対する市の基本的な考え方を伺う。

答 市が目指す居場所づくりでは、交流の場の提供を出発点とし、支援を必要とする方の主体性を尊重しつつ受け入れる環境を整え、安心して参加できるようにすることが不可欠である。さらに、参加者が居場所で役割を持つことで自己肯定感が生まれ、孤立を生まない地域づくり

につながるものとする。市は、共に支え合い、生き生きと暮らせる地域共生社会の実現を目指し、NPO法人やボランティア団体など、地域づくりの担い手をはじめとする多くの方との対話を重ね、顔の見える関係を築きながら連携を深め、居場所づくりを着実に進めていく。

〈その他の質問項目〉○ひろさき広域出愛サポートセンターについて ○当市における公園の利活用について



野村 太郎
(無所属(東雲))



熊対策について

問 今年度の対策について。

答 市街地等に出没した際に、緊急銃猟を迅速に対応できる体制を整えるため、公務員の身分を有し、銃猟免許の資格を持つガバメントハンターを雇用するとともに、5月からは農村整備課に鳥獣対策推進室を設置して体制強化を図っている。

弘南鉄道について

問 弘南線沿線地域交通検討会議の設置

経緯は。

答 弘南線は、沿線市村において令和10年度までの期間で支援を拡充するとともに、持続可能な公共交通となるビジョンを持って検討していくことを確認している。これを踏まえ、県から弘南線の広域交通機能の維持方策に関する調査等を進めるとの方針が示され、本年4月に弘南鉄道弘南線沿線地域交通検討会議を立ち上げたものである。



渡辺 果歩
(弘前さくら未来)



子育て支援に関わる今後のビジョンについて

問 「選ばれるまち・子育てしやすいまち」であり続けるため、市の見解を伺う。

答 今年度は、ゼロ歳から2歳児までの保育料完全無償化や副食費への支援、認可外保育施設の利用料への助成等を実施するところ。今後は、さらなる「教育と子育て環境の充実」を図るため、「子育て負担の軽減と教育費支援」「子供の成

長環境の整備」「若者定着と地域の未来づくり」の方針のもと、スキーや学用品のリユースをはじめとする公的支援、全天候型子ども運動パークの整備や部活動の地域展開の円滑実施等に取り組む。市では、今後も市民と対話を重ねながら、「次世代の笑顔を守るまち」の実現に向けて、子育て支援に積極的に取り組む。

〈その他の質問項目〉○児童の運動機会の充実 ○弘前の子供の発達支援

議長(尾崎寿一)は採決に加わっていません。

石山	木村	千葉	野村	外崎	尾崎	蒔苗	松橋	三上	佐藤	工藤	清野	田中
敬	隆洋	浩規	太郎	勝康	寿一	博英	武史	秋雄	哲	光志	一榮	元
○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

令和8年第1回臨時会審議結果

※議会での慎重審議により、承認、同意となりました。

市長提出議案：6件 その他：6件

令和8年第2回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、可決、同意となりました。

市長提出議案：18件

予算関係：4件、条例関係：6件、その他：8件

定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合もあり。

委員会等活動報告

経済文教常任委員会

4月30日(木) 三和地区農道及びりんご園地、弥生地区りんご園地

○農道及びりんご園地の雪害状況調査について

6月4日(木) 岩木川浄化センター

○汚泥有効利用施設の実施状況調査について

厚生常任委員会

5月26日(火) 市役所

厚生常任委員会と保育研究会との懇談会

○弘前市における保育業界の現状について

建設常任委員会

5月29日(金) 市役所

○雪害指定道路及び除排雪事業の財源について

総務常任委員会

6月23日(火) 市役所

○人口減少対策に係るふるさと住民登録制度に関する取組について

議会改革特別委員会

4月20日(月) 市役所

○通年議会に関することについて

○次の委員会の開催日について

5月22日(金) 市役所

○通年議会に関することについて

○次の委員会の開催日について

6月15日(月) 市役所

○広聴広報活動に関することについて

○議会及び常任委員会の機能強化に関することについて

○次の委員会の開催日について

ひろさき市議会だより編集特別委員会

4月21日(火) 市役所

○掲載内容について

7月1日(水) 市役所

○掲載内容について

○編集日程について

○行政視察について



(経済文教常任委員会)
三和地区のりんご園地にて



(経済文教常任委員会)
岩木川浄化センターにて



(厚生常任委員会)
保育研究会との懇談会の様子

市内りんご園地の視察を実施

7月1日(水)、本年産りんごの作業本格化に向けて、生産者を激励するため、市とともに石川・相馬・東目屋の園地を視察しました。

市議会では、りんご生産者の営農意欲が持続されるよう、生産者の声も聞きながら、市と一体となり全力で取り組んでまいります。



表紙写真大募集!!

- ◎弘前市内で撮影された写真
- ◎規格 デジタル写真データ(横撮り)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真タイトル・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、ご応募ください。

- ◎締め切り 令和8年10月9日(金)
- ◎掲載時期 令和8年12月発行の第88号
- ※応募の詳細は、弘前市議会ホームページでご確認ください。



表紙写真募集のページ

議会を傍聴しませんか

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館4階で受付しております。本会議及び予算決算常任委員会は、インターネット中継のほか、市役所前川新館1階市民ギャラリーのモニターテレビで中継放送もしております。

次回定例会日程(予定)

- (8月21日(金)) 議会運営委員会 会期日程等の協議
- 8月28日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
- 10月7日(水) 閉会日(本会議) 各委員長長の報告、質疑討論、表決、閉会

※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。



ひろさき市議会だよりは環境にやさしいインキを使用しています。